

議案第 25 号 令和 7 年度使用教科用図書の採択について

(学校教育課長の説明) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 5 項の規定により、北播磨採択地区協議会から令和 7 年度使用教科用図書について別紙のとおり報告がありました。つきましては加西市立学校における令和 7 年度使用教科用図書について別紙のとおり採択したいので、委員会の議決を求めるものです。5 月の定例教育委員会で採択要領についてはご承認いただきましたので、再度確認させていただきながら説明を続けさせていただきたいと思っております。少し長くなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県教育委員会では、教科用図書の共同採択地区として北播磨地区 5 市 1 町を設定しています。これまでも小・中・特別支援学校で使用する教科用図書については、5 市 1 町で組織する北播磨採択地区協議会で協議した結果に基づき、各市町教育委員会で種目ごとに同一の教科用図書を採択してきました。今年度は令和 7 年度に使用する小学校教科用図書、令和 7 年度から使用する新しい中学校の教科用図書及び学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定による教科用図書の採択をする年度となっています。

これまでの経緯は以下のとおりです。

- ・ 5 月 22 日に令和 6 年度第 1 回北播磨採択地区協議会が行われ、協議会の規約、教科用図書採択に係る日程、調査員の割当てなどについて協議いたしました。
- ・ 6 月 14 日から 14 日間、兵庫県内の 35 か所（北播磨地区：西脇市、三木市）で教科用図書の法定展示会が行われました。展示会の来場者にアンケートを実施し、その集約したものは 7 月の第 2 回北播磨採択地区協議会に参考意見として提出されています。また、教育委員の皆様にも 5 月 27 日定例教育委員会の後、各社から出ております全教科用図書を実際に手に取っていただきご意見等をいただいたところ です。
- ・ 6 月 6 日、14 日、20 日に、教科ごとに教科用図書の調査研究を行う調査委員会を計 3 回実施しています。北播磨採択地区協議会が委嘱した調査員 47 名が各教科を担当し、教科用図書の調査検討を行い、その結果を報告書にまとめています。
- ・ 7 月 4 日に令和 6 年度第 2 回北播磨地区採択協議会が行われ、各調査員から調査結果の報告を受けました。調査員からは調査研究結果の報告を受けています。なお、協議会では、調査研究結果並びに調査員からの報告を踏まえ慎重に協議がなされ、令和 7 年度から使用する教科用図書が検討されました。

その結果に基づき、案のとおり採択することについて議決を求めるものです。

まず、小学校の教科用図書については、現在使用している教科用図書を採択することにしていきます。昨年度に採択を受けましたので、既に今年度から使用が始まっておりまして、7 年度も継続してこれらの教科書を使います。

次に、北播磨採択地区協議会で選定された中学校教科用図書について、その主な理由は以下のとおりです。なお、発行者名や文部科学省が作成した中学校教科用図書目録による略称を使わせていただきます。また、採用がされなかった発行者ごとの調査報告書については、時間の都合上、説明を省かせていただきます。これ以降、各種目各教科について説明をしていきます。

- ・国語：「光村」 教材全体に力があり中学生の心に響かせたいメッセージ性の強い作品が多いため、読み遂げたときの心に残るものも多く、国語という教科を通して心の育成も狙うことができます。中身的には「学びへの扉」や「学びのカギ」などによって学ぶことが焦点化されたつくりになっています。資質能力が身につけやすいつくりになっています。
- ・書写：「光村」 兵庫県に関連する内容のものが多く、入学願書の書き方やメール、プレゼンテーション、デジタル付箋などの通信文の書き方なども掲載されており、生徒が関心を持ちやすくなっています。また、原寸大の手本がある上、名前も記入されているため、そのまま配置を指導することができます。また、別冊の書写ブックを利用して毛筆以外でも書写に取り組めるなど、活用しやすいポイントが多くあります。
- ・社会（地理的分野）：「帝国」 帝国の文章は、教科書の構成として写真やグラフなど諸資料が充実しており細部まで統一されています。単元を通した問いが各ページに掲載されているため、課題を意識しながら学習に取り組むことができます。また、要所にある「技術をみがく」などで資料や学習内容を活用した探究活動をして、生徒に身につけさせたい力を育成できると考えられます。
- ・社会（歴史的分野）：「日文」 本文中の重要語句の説明に合わせて図表や地図などの資料が示されており、読み取り活用の技能を高める工夫がなされています。また、生徒の理解を助けるための関連資料がバランスよく掲載されています。単元を通しての学習課題を幹として、章や節に枝葉となる問いが設定されていることによって、歴史全体の流れや時代感覚をつかみ取りやすく内容を深めることができます。
- ・社会（公民的分野）：「東書」 東書の図書は教科書の欄外にある解説や各章のまとめに重要語句が整理されており、知識を深めるための工夫がなされています。掲載されているコラム、「もっとしりたい」のテーマが多様かつ身近であり、学習する必要性を感じやすく問題意識を持ちやすくなっています。現代の日本社会が直面している様々な課題に対して分野や科目を横断しながら多面的、多角的に考察し、社会的な見方、考え方を育成することを意識した構成になっています。
- ・地図：「帝国」 各所に配置されている「地図で発見！」の問いを通して地図の読み取りなどの地理的技能の定着が期待できます。鳥瞰図も多数掲載され、地域

の姿をより具体的にイメージできるようになっています。地理的分野だけでなく歴史的分野や公民的分野の学習、総合的な学習など、多目的に活用することが可能になるという工夫もされています。

- 数学：「啓林館」 3学年のつながりや小学校や高等学校の連携までを考えた系統立てた構成で学習がしやすいと考えます。また、キャリア教育を意識した課題設定があり、数学と実社会の関連性やSDGsなどの問題も取り上げられているため、生徒たちの学びの意欲が広がっていくと思われます。「数学広場」というコーナーでは問題にマークが掲載してあることや「入試問題にチャレンジ」という設定があり、個に応じた学習が可能となっています。
- 理科：「啓林館」 学習順序が確立しているので自身が今、何を学んでいるのかがわかりやすくなっています。また、随所にある「〇〇ラボ」等で実社会や実生活との結びつけがあり、興味関心を高める工夫が多く見られます。実験観察では探究の過程をわかりやすく表示してあり、実験内容にも工夫が見られ、生徒が自分で試せるようにしてあります。兵庫県の資料も多く使われており、生徒が身近に感じるできるようになっています。
- 音楽（一般）：「教芸」 教材ごとに目標や学習ポイント、楽典のポイントとなる要点が随所に示されており、この教材で何を学習するのか、どのように表現を工夫していくのか、音楽的な見方や考え方を働かせて学習するポイントなどが具体的にわかるようになっています。また、生徒にとって思考を深めるためのイラストのコメントや表現力を培うための「学びのコンパス」、豊富な資料、鮮やかな写真等の工夫がなされています。
- 音楽（器楽合奏）：「教芸」 リコーダーの学習では指の運び等を順序立てており奏法を身につけられるよう工夫されています。「学びのコンパス」や「My Melody」は一般の教科書と関連づけられているため扱いやすくなっています。伝統の枠を超えて活躍する和楽器の紹介が増え、分野を超えたジャンルが取り上げられています。
- 美術：「日文」 生徒が主体的に学ぶための入り口となる鑑賞作品の提示や発想構想の手がかりとなる表現のヒントが見やすくまとめられています。また、学年の発達に応じた段階別の題材設定がされており、3年間で系統性を踏まえながら指導計画を立てていくことが可能となっています。視覚特性のある生徒への色の配慮や多様化した生徒の実態に対応していく資料の動画など、現代的な諸課題への対応が見られます。
- 保健体育：「東書」 知識を得るところから始まり、学習内容を広げるため自己への気づきや他者への気づきに目を向けやすくなっています。人権に関わる内容では中学生の作文を冒頭に出すなど、人間性の向上を促す細かい工夫がなされています。資料の内容が細かく、内容をより理解するための補助的な役割を大きく

満たしています。

- ・技術家庭（技術分野）：「教図」 各項目の最初にキーワード、目当てが示されており、授業者、学習者ともに見通しを持って授業に臨むことができます。各編のまとめとして知識技能を深める問題、思考力、判断力、表現力を高める問題、主体的に学習に取り組む態度を促す問題が掲載され、授業で身につけた知識や技能の活用を促すことができると考えています。「スゴ技・技ビト」などのコーナーにより日本の技術への興味関心を高めることができます。
- ・技術家庭（家庭分野）：「東書」 兵庫県に関する内容を幅広く取り扱っており、播州織についても掲載されています。衣食住の生活の内容が教科書の前半に位置づけられ、レポート例などが拡充しております。生徒が自ら学習する際の参考となる工夫がされています。男女共同参画社会や多様性など共生の視点を重視し、性別や国籍、世代を越えて共に生活できるような想定がされています。
- ・英語：「三省堂」 実生活に基づいたストーリー展開や中学生の視点を反映した題材が使用されており、親しみやすい資料を中心として配置されています。文法の習得に向けて聞く、話すなどの活動が豊富に取り入れられており、運用しながら知識技能の習得ができるようになっていきます。細部には各活動につなげられ音から文字への橋渡しが丁寧となっています。デジタル教材や付属のワークシートも豊富であるため、教材準備の負担感も少なくなると考えられます。
- ・道徳：「教出」 国や世代、文化、人権課題など様々な視点で書かれた資料が豊富にあって、多角的多面的な視点から道徳的価値に迫ることができます。小学生から中学生、さらにその先の進路へとどうつなげていくかを意識して生徒の発達段階に即したものになっています。どうすれば問題を解決できるのか様々な考えを出し合う問題解決の手法や生徒がその立場を演じることで多角的な視点を持つことができるロールプレーなどの資料が多く、多様な指導方法を取り入れることができます。

学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書については、兵庫県教育委員会による調査研究資料に基づき調査研究を行った結果、一般図書一覧に掲載されている全ての図書について教科用図書として採択することにしました。また、特別支援学校用及び小中学校の特別支援学級用の教科書——いわゆる☆本と呼ばれる文部科学省の著作本についても、同様に文部科学省の教科書目録に掲載されている全ての図書について教科用図書として採択することとしています。今後、今回の教育委員会の採択を受け、各学校の教科担当者が児童生徒の実態に合わせて図書を選定していくことになります。